

3月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
暗黒の彼方	堂場 瞬一	新鋭の新聞記者・古山孝弘は、かつてコンビで千葉・埼玉連続幼児殺害事件の真実を暴いた先輩記者・松島慶太に呼び出された。松島は余命宣告を受けている、と告白、古山にあるメモを託した。薫陶を受けた先輩が「心残りだ」と告げるそのメモの暗号を解き、謎を暴くため、古山の取材が始まる。
モンスターシューター	新堂冬樹	ハーフに間違われる彫りの深い顔立ちでポニーテール、筋肉の鎧に覆われた褐色の肌ー冴木徹は異彩を放つトラブルシューターだ。彼の最終ターゲットは、芸能界を牛耳るモンスターである「極東芸音協会」会長・赤尾豊斎。11年前に遡る、彼らの因縁とは!?
被告人、AI	中山 七里	都内で一人暮らしをしていた浅沼啓造が突然死した。心臓にペースメーカーを埋め込んでいた啓造の死因は虚血性心疾患と判断された。だが警視庁捜査一課の犬養は、介護のために導入され、リタと名付けられたロボットN365に注目する。AIがヒトに〈殺意〉を抱く可能性はあるのか。
八州の風手控え帳	あさの あつこ	「八州廻り」と呼ばれる任に就く若人・一柳直四郎。最も若く新参者で、村役人にもてなしをねだる術にも、宿の値引き交渉にも通じていない。目元の下がった色白の童顔は争いごとを好まぬが、理にかなわないことはもっと好まない。
ウチの共有不動産揉めてます！	桂 望実	母親が遺した不動産を共有不動産として相続することになった四人のきょうだい。土地の売却価格をめぐる対立するうちに、それぞれの抱える行き詰まりまでもが明らかとなり……!?果たして彼らは円満に相続を終え、人生を再スタートできるのか。
熟柿	佐藤 正午	激しい雨の降る夜、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねたかおりは轢き逃げの罪に問われ、服役中に息子・拓を出産する。出所後息子に会いたいがあまり園児連れ去り事件を起こした彼女は、息子との接見を禁じられ、追われるように西へ西へと各地を流れてゆく。
探偵小石は恋しない	森 バジル	ミステリオタクの小石は、名探偵のように華麗に事件を解決する日を夢見ている。9割9分が不倫や浮気の調査依頼で、推理案件の依頼はこない。それでも調査をこなすのは、色恋調査が「病的に得意」だから。相談員の蓮杖と小石が意外な真相を目の当たりにする裏で、思いもよらない事件が進行していて――。
PRIZE-プライズー	村山 由佳	天羽カインは憤怒の炎に燃えていた。本を出せばベストセラー、映像化作品多数、本屋大賞にも輝いた。それなのに、直木賞が獲れない。文壇から正当に評価されない。私の、何が駄目なの? ……何としてでも認めさせてやる。全身全霊を注ぎ込んで、絶対に。

ぼくとコテツの最後の3ヵ月

江本宏平, 槻木こえだ

颯太が生まれたときから、いつもそばにいてくれた愛犬・コテツ。毎日遊び、寄り添うように暮らしてきた。ところが、コテツが13歳を迎えたころから、少しずついつもと違う様子が見えはじめる。それは、颯太とコテツが過ごす「最後の3ヵ月」のはじまりだった――。犬とともに暮らす家族にとって避けられない現実に、少年が向き合っていく物語。

出版社HPより

【お知らせ】 月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」「すてきにハンドメイド」

■「ESSE」

